

(知立市) 東っ子サポートステーション(知立東小学校区地域学校協働本部)

市町村の 基本情報	学校数	小学校7校、中学校3校		
	地域学校協働活動推進員等の配置	統括的な地域学校協働活動推進員	0人	
		地域学校協働活動推進員	3人	
	状況	統括コーディネーター	1人	
		地域コーディネーター	8人	
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小2校	中1校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小2校	中1校	



(活動の実際)

<知立東小学校の取組>

(目的)

学区に外国人の集住地区がある知立東小学校において、子供たちが多文化共生社会をたくましく生きていけるよう、学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む。

(活動内容)

おやじの会会長が地域学校協働本部長となり、地域コーディネーター、地域学校協働活動推進員と連携し、保護者や地域に声をかけ、学習支援、学校環境整備等を行う。

※活動例：ミシン実習補助、バスケットボール指導補助、キャリア教育講演会講師、体験講座講師、校内ペンキ塗り

(意識していること)

- ・地域とともに未来を担う子供たちを育てる学校づくりを目指す。
- ・活動の様子を学校だより、ホームページ等を使って、保護者、地域へ積極的に発信し、周知する。

(◎成果と●課題)

◎地域の方に、家庭科におけるミシン実習補助、体育におけるバスケットボール実技指導等を支援していたことで教員の負担軽減につながった。

◎地域の方が学校の教育活動に関心をもち、協力しようという雰囲気の高まりが感じられた。

●今年度から学校運営協議会が発足し、地域学校協働本部の活動が始まった。PTA 総会、運動会等で周知したり、学校だより、ホームページでも活動を紹介したりしているが、地域全体に認知が広がっていない。

●持続可能な体制づくり。

(関係者の声)

- ・キャリア教育講演会で地域の方の話を聞き、自分の夢をあきらめることなく、自分はできると信じ、なりたい自分を目指して、勉強を一生懸命に頑張りたいと思った。(児童)
- ・体育のバスケットボールの授業では、地域の方に専門的な指導をしていただき、子供たちによりよく技能が身についた。自分ではできない指導なので、とてもありがたかった。(教員)
- ・学校の活動がよく分かるようになった。これから自分にできることがあれば、協力していきたい。(地域の方)